

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AC236／専門基礎 6 (Workshops for Academic Researchers 6)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ヨーロッパ系言語2		
担当者名 (Instructor)	畑 瞬一郎(HATA SHUNICHIROU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	HIS2540	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

イタリア語文法の基礎を理解し、平易な文を扱えるレベルに到達することをめざす。

Students will learn the basics of Italian grammar and will progress to the level of handling simple texts.

授業の内容 (Course Contents)

イタリア語の初級文法を習得する(春学期の「専門基礎3」で学んだ知識に基づいて、さらに文法事項を学んでいく)。

指定のテキストにしたがって文法事項を解説するとともに、習得した文法事項を応用する練習問題などを通して、理解を深め、使える外国語として定着させる。

Students will learn beginner-level Italian grammar (progressing beyond the knowledge learned in Workshops for Academic Researchers 3 in the spring semester).

While explaining the grammatical matters according to the specified texts, the course will deepen students' understanding through practice questions that apply the learned grammar, etc., to establish the language as a usable foreign language.

授業計画 (Course Schedule)

1. 文法の復習(春学期学習事項の確認)
2. 文法の復習(春学期学習事項の確認)2
3. 直説法半過去・大過去
4. 直説法未来・先立未来
5. 受動態
6. 比較級・最上級
7. 関係詞1
8. 関係詞2 ジェルンディオ
9. 条件法
10. 接続法
11. 接続法2
12. 遠過去・先立過去
13. 補遺など
14. まとめと復習

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

外国語の初歩を学ぶ際は復習が重要である。短時間の復習を頻繁に繰り返すことが語学習熟のための効果的かつ効率的な学習法と認識されたい。家庭学習での復習は必須。テキストに掲載された問題が宿題となることも少なくない。いずれにせよ、授業時間だけの学習では十分ではなく、授業外での反復学習が求められることを理解した上で履修すること。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%)/授業への積極的参加(30%)

テキスト (Textbooks)

1. 杉本裕之、2007、『基礎イタリア語講座三訂版』、朝日出版社 (ISBN:978-4-255-55318-4)
 2. 池田廉 他、1999、『伊和中辞典』、小学館 (ISBN:978-4095154022)
 3. 秋山余思 他、2011、『プリーモ伊和辞典』、白水社 (ISBN:978-4560000854)
1. の教科書は「必須」。
2. もしくは 3. の辞書は、いずれかの購入が強く推奨される。
※ 電子辞書あるいはネット上の辞書類はお勧めできない。

参考文献 (Readings)

1. 長神 悟、2018、『イタリア語の ABC』、白水社 (ISBN:978-4560087831)
2. 藤谷 道夫、他、2013、『入門 イタリア語の最初歩』、三修社 (ISBN:978-4384057508)

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

履修にあたっては原則として春学期の「専門基礎3」を修得していることが条件となる。
しかし「専門基礎3」を未履修であっても、そこまでの文法事項を習得済みである場合は履修を認めることがある。初回に申告があれば、習熟度をテストなどで個別に判断する。

注意事項 (Notice)